

(様式1)

令和5年度 学校評価結果報告書(高等学校用)

(1) 学校教育目標	グローバル教育を推進し、広く国際的な視野に立って社会の発展に貢献できる人間の育成を目指す。
(2) 現状と課題	素直で優しい生徒が多く、多くの生徒が部活動に参加し練習に励んでいる。一方で、自分の将来を考え、実現に向けて主体的に行動するという点においては十分とは言えないことから、昨年度より総合的な探究の時間及び探究的な学びに力を入れている。その結果、自主的に探究活動を継続する生徒や、自らの将来設計を明確にし、実現に向けて主体的に行動する生徒が増えている。また、国際的視野に立ち社会に貢献したいと考えている生徒が多いことから、校内外における教育活動を更に充実させていくことが必要と考えている。
(3) 重点目標	1教 務 グローバル教育に基づく魅力ある教育課程を編成するとともに、指導方法についての調査・研究と研修を実施する。
	2生徒指導 事故・非行等の未然防止に努め、様々な活動を通し、生徒のコミュニケーション力やグローバル社会に貢献する態度を育てる。
	3進路指導 進路情報を提供し、生徒が主体的に進路を選択するための支援を行うとともに、教員間で情報を共有し、全教員での指導体制を充実させる。
	4外国語科 グローバル教育を推進し、異文化の人々との交流を通じて、外国語を用いてコミュニケーションしようとする態度を養う。
(4) 結果の公表	1 学校評議員には学校評価結果報告書を送付する。 2 学校ホームページにおいて公表する。

学校整理番号	5
学 校 名	青森県立青森南高等学校
全日制の課程	本校
自己評価実施日	令和6年2月2日
学校関係者評価実施日	令和6年2月6日

(9) -イ 学校関係者評価委員会の構成

地域の多彩な有職者で構成されている学校評議員会を学校関係者評価委員会と位置づけている。  
保護者代表 1名 地元住民 1名、  
後援会代表 1名、有職者 1名  
本校学食運営 1名(欠席)

自 己 評 価				学校関係者評価	(10) 次年度への課題と改善策
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度	(9) -ア 学校関係者からの意見・要望・評価等
1	グローバル教育に基づくカリキュラムマネジメントを推進し、特色ある教育課程を編成するとともに、指導方法の研究と改善に努める。	①教育課程委員会及び教科主任会議を開催し、全教員が教育課程編成に取り組む環境を整備する。 ②新学科開設に向けた「文理融合型」教育課程表を作成する。 ③グローバル教育に関する教員研修を行い、各教科の指導方法の研究の支援を行う。	①特色ある教育課程編成に向け、教育課程委員会及び教科主任会議を開催し、各教科や各分掌で検討を進めることで、全教員がカリキュラム・マネジメントに参加することができた。 ②各教科において検討し、「文理融合型」教育課程表を作成することができた。 ③国際バカロレア教育推進チームによる校内研修を3回実施し、各教科の指導方法の研究につなげることができた。	A	・グローバル探究科の開設準備、国際バカロレアの認定校に向けた準備など、教職員が一丸となって新たなことに積極的に取り組んでいる。 ・これらの取組を青森南高校の魅力として校外に効果的に伝えて欲しい。 ・今後も、特色のある学校として実績を積み上げてほしい。
2	日々、教職員が一丸となって事故・非行等の未然防止に努める。また、ホームルーム活動や生徒会活動、学校行事等を通じて、生徒が社会性やコミュニケーション力を身に付けるとともに、グローバル社会に貢献しようとする態度を育てる。	①朝の玄関指導の充実。 ②交通事故防止や非行防止を目的とした校外指導及び安全教室の実施。 ③ホームルーム活動や生徒会活動、学校行事等の実施。 ④校則の見直し。	①朝の玄関指導には生徒指導部以外の先生方にも参加してもらい、挨拶指導の充実につなげることができた。 ②校外における交通安全指導及び祭りでの巡回指導を行うとともに、交通安全教室、薬物乱用防止教室、情報モラル教室等を開催し、意識啓発につなげることができた。 ③ホームルーム活動では、いじめ防止についてクラス内で考える機会を設けた。また、文化祭をはじめとした学校行事についても、感染対策を講じながら、アイデアを出し合うことで、全て実施できた。 ④生徒及び保護者とともに、校則を見直すことができた。	B	・各種行事等で、生徒達の自主性、自発性を引き出し、意識啓発をしている。 ・生徒が落ち着いて前向きに学校生活を送っている様子がうかがえ、丁寧な指導がされている。 ・朝の玄関指導は先生方の負担とならないようにしてほしい。 ・今後も必要性や要望を精査し、今後も検討を継続してほしい。

3	総合型選抜や学校推薦型選抜に向けての個別指導の充実と、新課程入試等に関する情報提供を行う。	①全教員体制での志望理由書と面接・小論文の早期個別指導 ②新課程入試に関する情報収集と対応策の実施	①総合型選抜や学校推薦型選抜を利用して受験する生徒は年々増加傾向にあることから、志望理由書、小論文、面接指導については、オンライン教員研修を実施するとともに、全教員による指導が定着してきており、一定の成果を上げた。 ②大学入学共通テストの「情報Ⅰ」については、自習教材や外部講師による特別授業を実施することができたが、今後も注視していく。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様化している入試制度に対し、情報収集や対応の見なしなど、細やかな対応ができています。</li> <li>・PEN活動などの効果があると思われる取組は今後も続けてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講習等を適切に行い、学力を向上させる。</li> <li>・総合型選抜の受験時期が早いいため、全教員が一丸となって指導にあたる体制を構築する。</li> <li>・大学入学共通テストであらたに始まる「情報Ⅰ」について情報収集を行い、指導にあたる。</li> <li>・PEN活動など効果がある取組を継続する。</li> </ul>
4	外国語教育や国際交流活動を通して、他者と関わる力、協働する力並びに多様性を重んじる心を育成する。	①台湾 慈濟大学附属高級中学との対面及びオンラインによる姉妹校交流 ②青森中央学院大学留学生との交流 ③PDA人材育成協会によるディベート講演会の開催	①姉妹校との対面やオンラインによる交流を行い、お互いの文化や国について理解を深めることができた。 ②タイの留学生が来校し対面による交流を行い、校内を案内したりディスカッションを実施し、国際的視野を広げることができた。 ③3学年生徒を対象に即興で時事問題について考え、英語で意見を発表する機会を設けることができた。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流や教育交流が計画通りに実施でき、良かった。今後も青森南高校の特色を更に特化してきていると感じた。</li> <li>・今後も教職員の負担に考慮しながら生徒にとって魅力的な教育活動を行ってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、オンラインや対面での国際交流等を企画・実施し生徒の語学力、表現力、コミュニケーション力の育成に努める。</li> <li>・新設グローバル探究科では、外国語科のノウハウを活かし、文理融合型の探究活動を軸に教育活動を実践する。</li> </ul>
(11) 総括	<p>新型コロナウイルス感染症感染防止対策をしつつ、ほぼ予定通りの学校行事を実施した。単に、コロナ流行前と同じ運営をするのではなく、今後は、行事内容の精選や運営方法の改善、効率化に努めていく。総合的な探究の時間を軸とした活動により、生徒の「情報収集力」「協働する姿勢」「表現力」「コミュニケーション能力」等の今後の人生で必要であると思われる力が身につくにつれ、今後も、改善を重ね生徒の「生きる力」を養成していく。また、生徒の進路達成に向けて、カリキュラムの見直し、授業改善、大学入試制度の研究等に学校全体として取り組み、時代のニーズに応えた人材を育成していく。</p>					